

クラス	Q303	担当教員	今井 理恵
テーマ	特別なニーズのある子どもと共に学ぶ ―教育の意義と課題		
著書・論文 研究課題等	(著書) ・『発達障害児のキャリア形成と授業づくり・学校づくり』、共著、「生活指導、学級づくりを核としたキャリア形成の方法」 pp.17-25、黎明書房、2011. ・『特別支援教育を変える授業づくり学級づくり 1、芽生えを育む授業づくり・学校づくり』、共著、「授業を通じた人間関係力の形成」、pp.45-57、明治図書、2009. (論文) ・ 「インクルーシブ教育実践の理論的枠組み―イギリスにおける Inclusive Schools 論に着目して―」、『教育方法学研究』 35 号、日本教育方法学会、2010.		
ゼミナール概要			
キーワード：特別な教育的ニーズ、発達障害、インクルーシブ教育、学習の共同化、特別ニーズ教育			
目的、内容、方法、授業計画等： (学習目標) 特別ニーズ教育のあり方について中心的に学びながら、特別な教育的ニーズ（SEN）のある子ども成長と発達を支える教育のあり方について考えを深めます。 (内容、方法) 子どもの生活現実と SEN に対する認識を深め、さまざまな課題を抱える子どもに対して教育はどのように応答しようとしているのかを考察・検討します。 そのうえで、一人ひとりが排除されることなく、お互いの差異を認め合い、多様な他者とのつながりのなかで共同的にかかわり合い、学び合う教育実践のあり方について追求していきます。 (授業計画等) 1. SEN のある子どもの生活現実をよみひらく、2. 子どもの生きづらさと向き合う、3. 子ども観を問い直す、4. 特別なニーズ教育について認識を深める、5. SEN のある子どもの学びについての現状と課題を探る、6. 「共同的な学び」のあり方について追求する。 上記にあげた学習課題について文献、資料、研究会への参加などを行いながら学び、そのうえで特別なニーズ教育に関わる研究テーマを設定し、調査・研究を行います。			
担当教員からのメッセージ			
特別な教育的ニーズは、障害を持つ子どもはもちろんのこと、障害の有無にとどまらずに、いじめ、不登校、貧困等、さまざまな課題や生きづらさを抱える子どもたちが有しているものです。 教師を目指す方、子どもの教育に関わる仕事をしたい方は、子どもたちの持つ特別な教育的ニーズに教育実践を通して応答していくことが求められます。今日の教育のあり方について改めて問い直し、発達障害、いじめ、不登校、貧困の子どもの教育問題など、特別なニーズを持つ子どもの“教育”についてさまざまな視点から共に考えていきましょう。 ゼミは学生が主体となって学びと活動をつくりだしていく場です。問題意識を持って研究テーマを設定し、積極的にゼミ活動に参加することを期待しています。			